

水産タイムスに 「イムバランス」が取り上げられました。

水産タイムスに、「食物アレルギー 花粉症で効果」と題し、イムバランスが取り上げられました。

2010年11月15日(月)

水産タイムス

水産タイムズ社発行

食物アレルギー 花粉症

で効果

ニチモウバイオの開発素材

ニチモウの子会社のニチモウバイオティックス(東京都品川区)は、同社の開発素材である麹菌発酵大豆培養物(商品名イムバランス)が、これまでの大学や研究機関との共同研究で、

食物アレルギー、花粉症などに対する潜在的な新たな療法の可能性があることが明らかになったとしている。

まず、同社と米国ニューヨークにあるマウントサイナイ医科大学との共同研究で、同社の開発素材である麹菌発酵大豆培養物(商品名イムバランス)がピーナッツアレルギーモデルマウスに対する療法的な効果があることを確認し、食物アレルギーに対する潜在的な新たな療法の可能性があることを明らかにした。この論文は英国の学術誌「クリニク&エクスペリメンタルアレルギー」(08年11月号)に掲載されている。

また、東京農工大学の松田浩珍教授らのグループとの共同研究では、アトピー性皮膚炎自然発症モデルマ

ウスを用いて、イムバランスの有効比較試験を行った。この結果、皮膚炎の悪化抑制などの効果が認められた。この研究の結果は2009年10月に秋田市で開催の第59回日本アレルギー学会で松田教授が発表した。

さらに、所沢耳鼻咽喉科(埼玉県所沢市)にて花粉予防効果のパイロット臨床試験の結果、およそ85%有効効果が確認された。これは、くしゃみ、眼のかゆみ、なみだ目、鼻水、口蓋・喉の腫れの症状及び日本版鼻結膜炎が前年と比べて改善された。この成果は英国の07年の学術誌に掲載されている。